

2021年3月期決算 カンファレンスコール資料

2021年5月7日

日本ライフライン株式会社

2021年3月期 決算概要

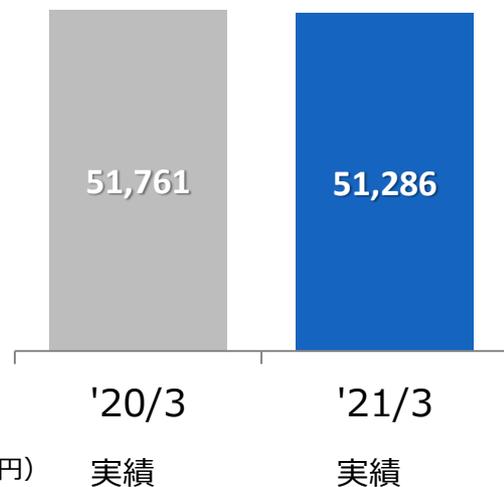
常務取締役管理本部長

山田 健二

- 売上高は、新型コロナウイルス、保険償還価格引下げの影響を受け若干の減収
- 営業利益は、売上総利益率が低下するも、販管費減少により、概ね前期水準を確保
- 特別損失として貸付金等に対する債権放棄損及びデット・エクイティ・スワップ損失等を計上

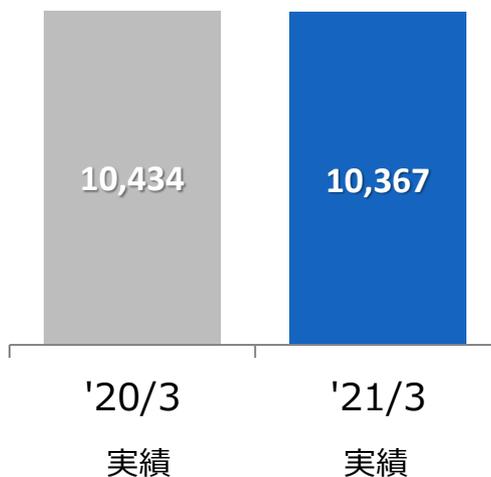
売上高

対前期 $\Delta 0.9\%$



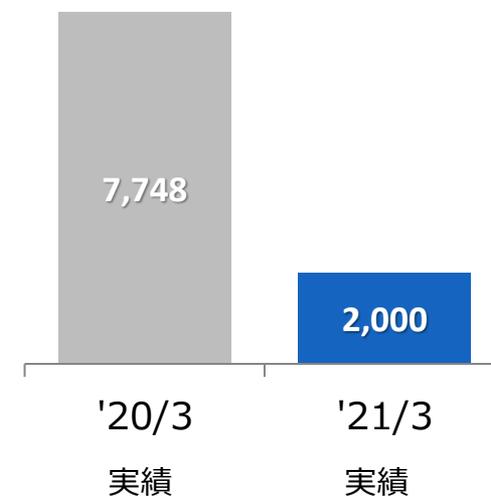
営業利益

対前期 $\Delta 0.6\%$



親会社株主に帰属する 当期純利益

対前期 $\Delta 74.2\%$

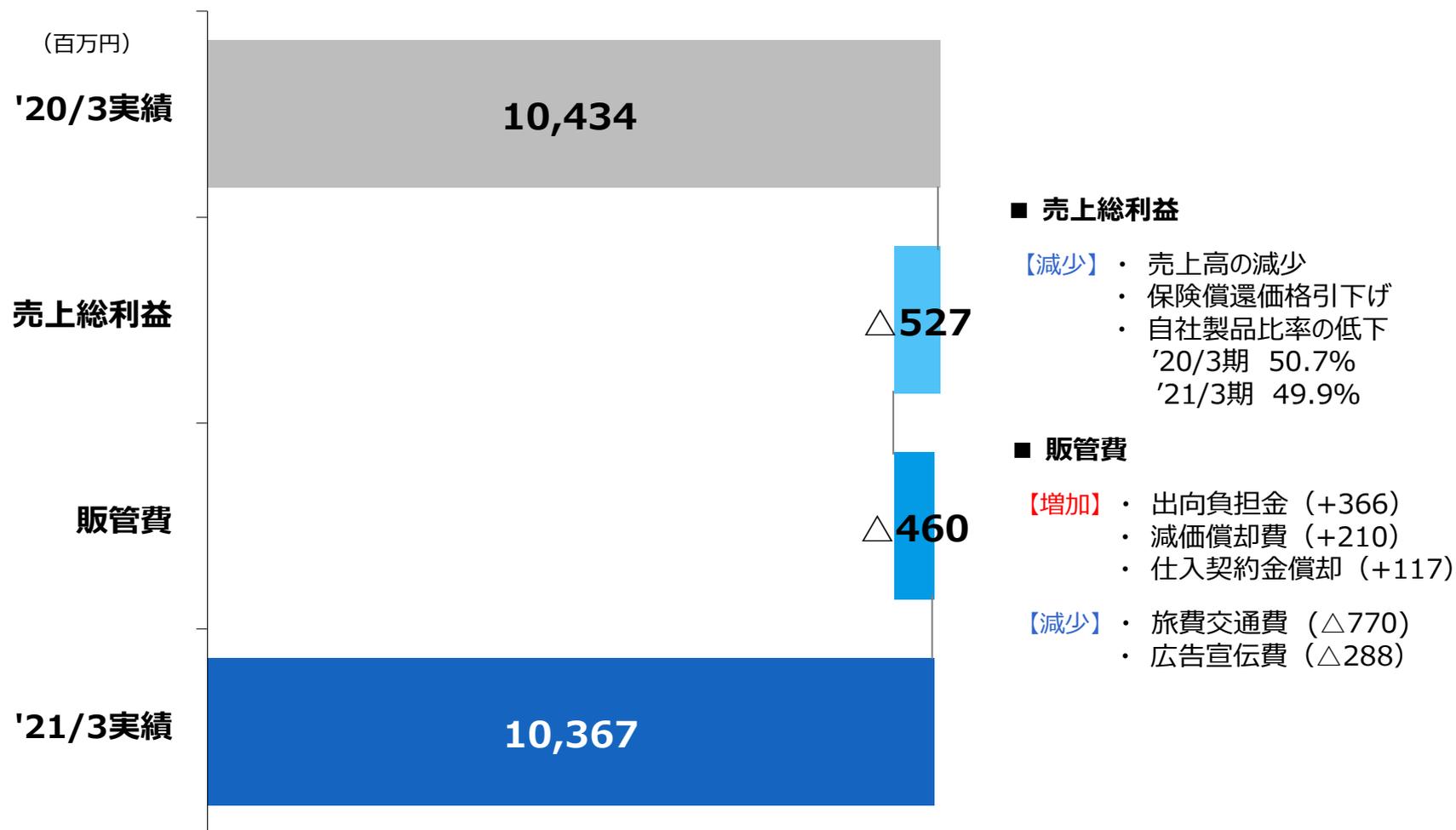


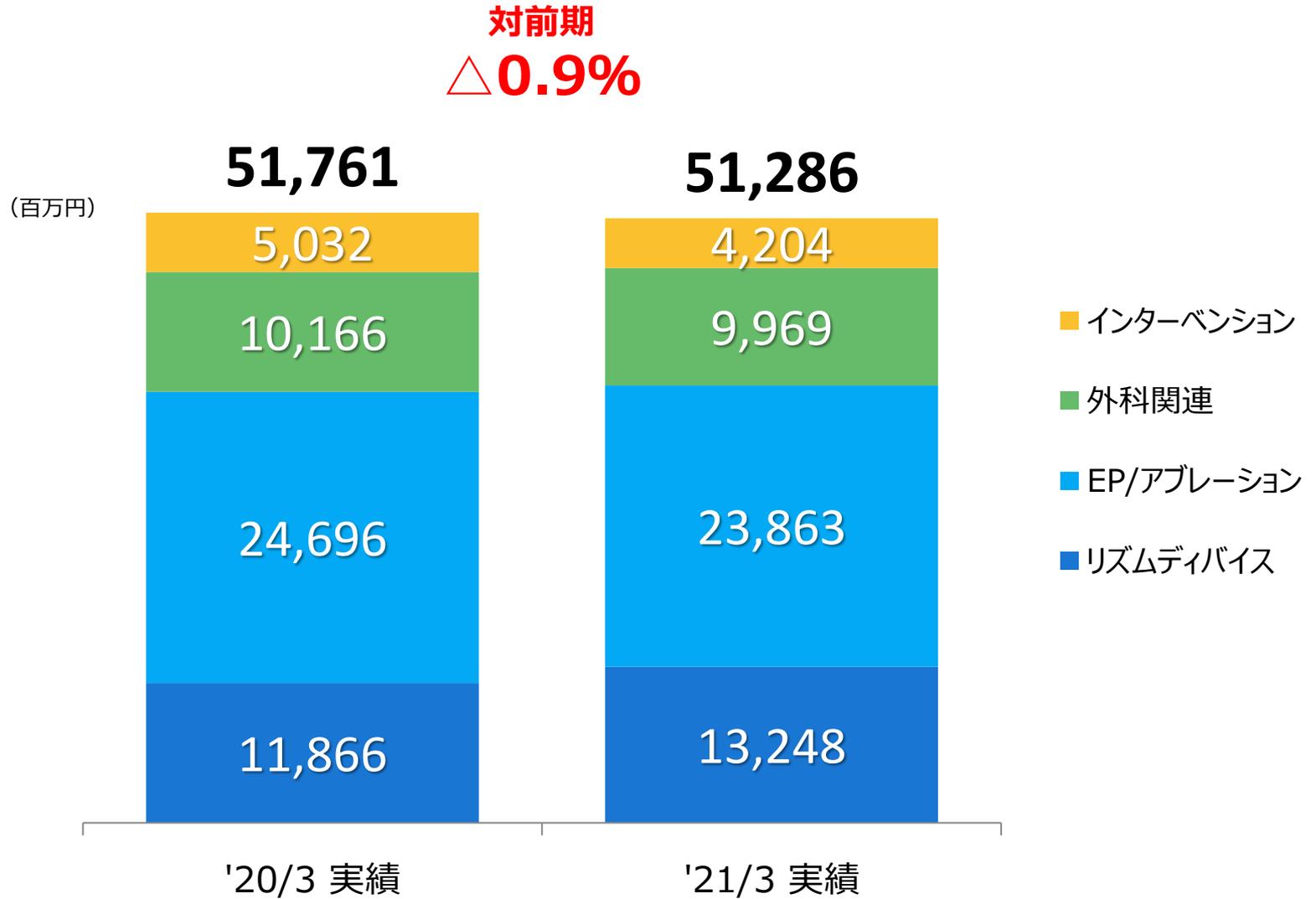
(百万円)

- 新型コロナウイルスの影響による自社製品比率の減少により、売上総利益率が低下
- 販管費比率の低下により、営業利益率は前期水準を維持

(百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 実績	対前期
売上高	51,761	51,286	△0.9%
売上総利益	29,191	28,664	△1.8%
売上総利益率	56.4%	55.9%	△0.5pt
営業利益	10,434	10,367	△0.6%
営業利益率	20.2%	20.2%	0.0pt
経常利益	10,425	10,519	+0.9%
経常利益率	20.1%	20.5%	+0.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,748	2,000	△74.2%
当期純利益率	15.0%	3.9%	△11.1pt

対前期 Δ 67百万円





リズムデバイス 対前期 +11.7%

- BSC*社製CRM商品が年間を通じて寄与
- ペースメーカー関連はBSC社商品が堅調に推移
- ICD関連はICD、CRT-Dの販売数量が大幅に増加

*ボストン・サイエンティフィック社

EP/アブレーション 対前期 △3.4%

- 2021年1月以降の感染再拡大の影響により、第4四半期はAF（心房細動）の
アブレーション治療の症例数が第3四半期に比べ減少
- 「BeeAT」、「RFニードル」は通期で前期の水準に留まる
- スティールラブルシース「Leftee」が伸長

外科関連 対前期 △1.9%

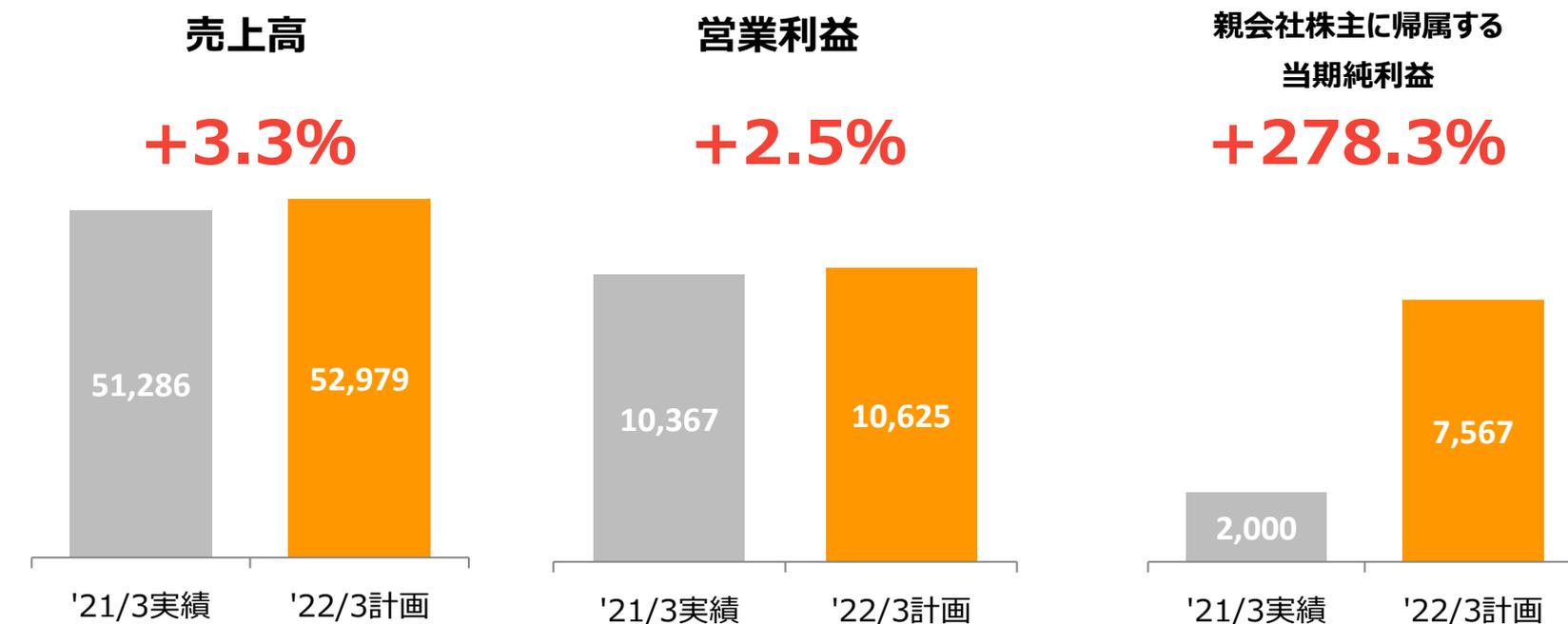
- コロナ禍において低侵襲なオープンステントグラフトの需要が増し、販売数量が伸長
- 2019年5月に人工心臓弁関連商品の取扱を終了、2020年3月で胸部用ステントグラフトの一部施設での限定的な販売が終了
- 血液浄化事業を2021年3月で終了、2021年4月に事業譲渡

インターベンション 対前期 △16.5%

- 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」は、保険償還価格引下げ、新型コロナウイルスの影響により売上高は減少
- 消化器領域の自社製品である肝癌治療用ラジオ波焼灼システム「arfa」が着実に市場に浸透し、売上高が増加

2022年3月期 業績予想

- 売上高は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、緩やかな増加を見込む
- 営業利益は、売上総利益が増加するも新商品導入のための治験費用・研究開発費の増加により微増を想定
- 当期純利益は、従来水準へ復帰する見通し

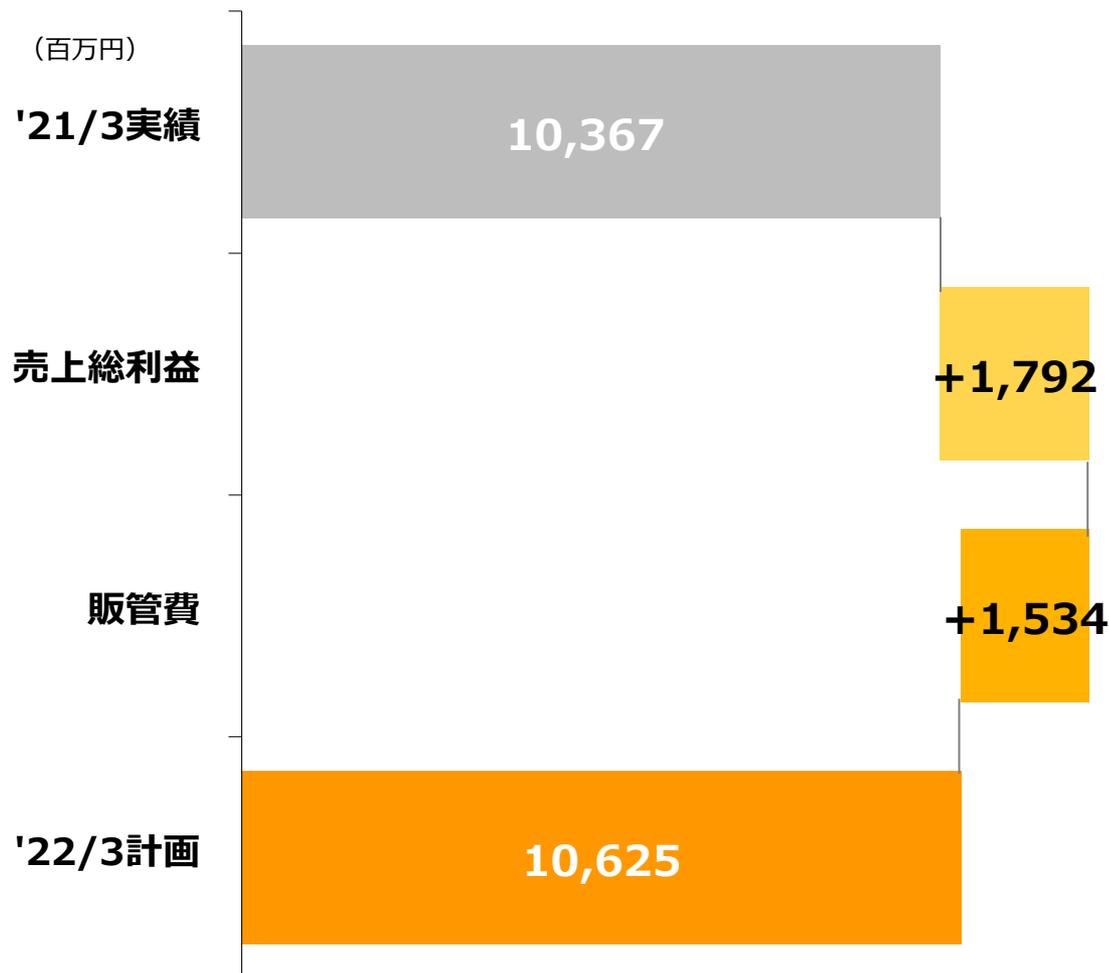


(百万円)

- 自社製品比率の上昇、自社製品の原価低減により、売上総利益率は改善を見込む
- 治験費用・研究開発費等の増加により、営業利益率は前期並みとなる見通し

(百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 計画	対前期
売上高	51,761	51,286	52,979	+3.3%
売上総利益	29,191	28,664	30,456	+6.3%
売上総利益率	56.4%	55.9%	57.5%	+1.6pt
営業利益	10,434	10,367	10,625	+2.5%
営業利益率	20.2%	20.2%	20.1%	△0.1pt
経常利益	10,425	10,519	10,682	+1.5%
経常利益率	20.1%	20.5%	20.2%	△0.3pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,748	2,000	7,567	+278.3%
当期純利益率	15.0%	3.9%	14.3%	+10.4pt

対前期 +258百万円

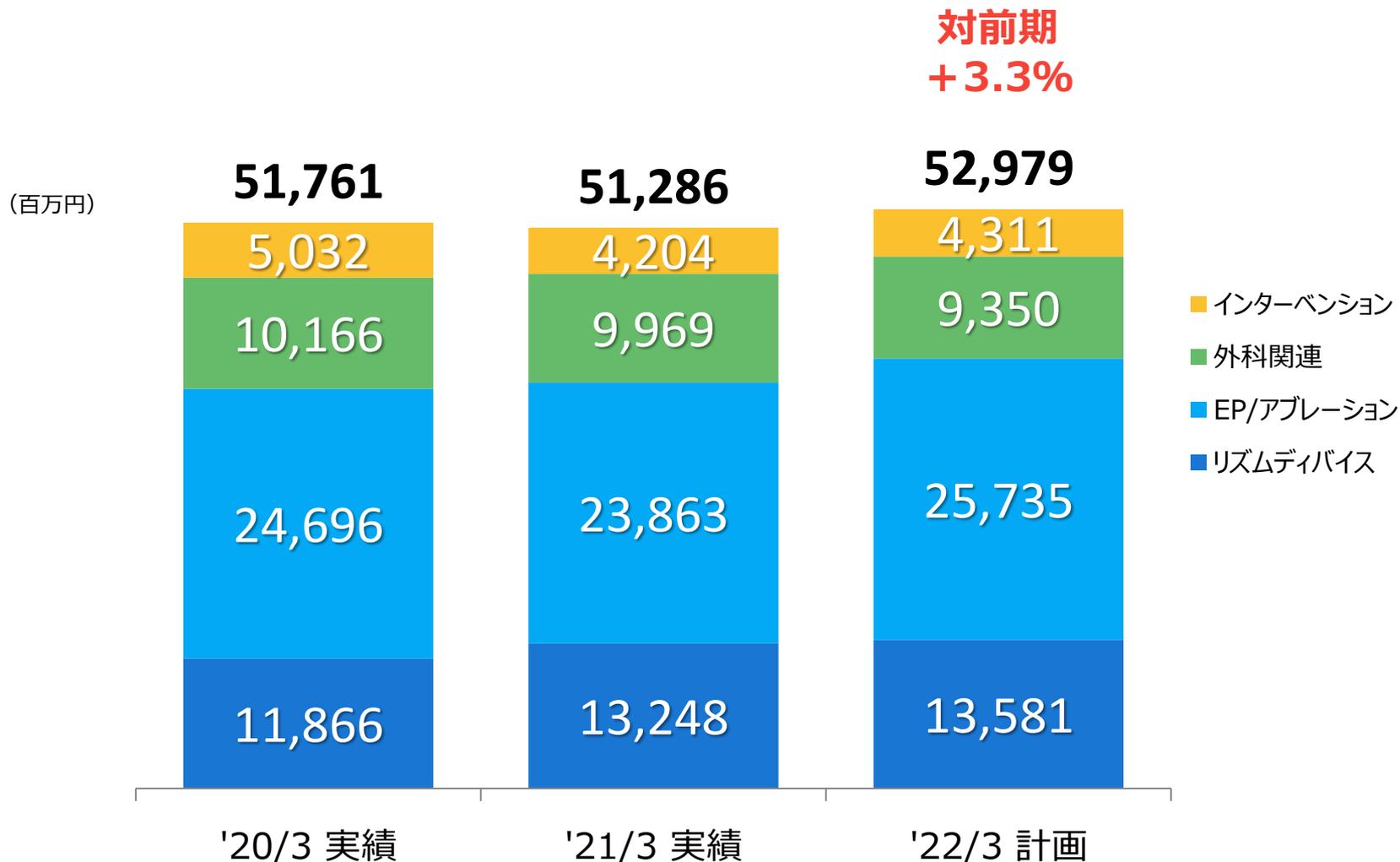


■ 売上総利益

- 【増加】・ 売上高の増加
- ・ 自社製品比率の上昇
'21/3期 49.9%
'22/3期 50.8%

■ 販管費

- 【増加】・ 治験費用 (+287)
- ・ 研究開発費 (+477)
- ・ 旅費交通費 (+160)
- ・ 広告宣伝費 (+139)
- 【減少】・ 出向負担金 (△193)



(百万円)		2018/3期	2019/3期	2020/3期* ¹	2021/3期* ²	2022/3期 (計画)
設備投資額		3,630	1,248	2,536	1,382	1,709
減価償却費		953	1,176	1,264	1,525	1,649
研究開発費		1,121	1,431	1,743	1,667	2,144
期末従業員数	連結	906	932	1,074	1,167	1,249
(名)	単体	814	850	995	995	1,018

*¹ 2020/3期より、連結・単体従業員数にはボストン・サイエンティフィック ジャパン社からの出向社員含む

*² 2021/3期より、JLLマレーシア社を新規連結

(資料) 品目別売上高 ('21/3期実績 対前期)

(百万円)	2020/3期		2021/3期				備考
	通期 実績		通期 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,682	11.0%	5,996	11.7%	314	5.5%	
ICD関連	5,960	11.5%	7,001	13.7%	1,041	17.5%	
その他 * ¹	223	0.4%	250	0.5%	26	11.9%	AED含む
リズムデバイス 計	11,866	22.9%	13,248	25.8%	1,382	11.7%	
EPカテーテル * ¹	17,915	34.6%	17,314	33.8%	△ 600	△3.4%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	1,421	2.7%	1,047	2.0%	△ 374	△26.3%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	5,358	10.4%	5,501	10.7%	142	2.7%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	24,696	47.7%	23,863	46.5%	△ 832	△3.4%	
人工弁関連	259	0.5%	33	0.1%	△ 226	△87.1%	
人工血管関連 * ¹	8,879	17.2%	9,039	17.6%	159	1.8%	ステントグラフト（胸部・腹部）、オープンステントグラフト含む
血液浄化関連 * ¹	994	1.9%	871	1.7%	△ 122	△12.3%	
その他	32	0.1%	24	0.0%	△ 7	△24.1%	人工肺関連含む
外科関連 計	10,166	19.6%	9,969	19.4%	△ 197	△1.9%	
PI関連 * ¹ * ²	4,839	9.3%	3,921	7.6%	△ 918	△19.0%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈ステント、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹ * ³	132	0.3%	247	0.5%	114	86.4%	大腸ステント、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
その他 * ¹	60	0.1%	36	0.1%	△ 24	△40.5%	子会社販売商品含む
インターベンション 計	5,032	9.7%	4,204	8.2%	△ 828	△16.5%	
合計	51,761	100.0%	51,286	100.0%	△ 475	△0.9%	

*¹ 自社製品含む

*² PI (percutaneous intervention) 関連は従来のPCI関連を名称変更し、従来の“その他”に含まれていた心房中隔欠損閉鎖器具を加えたものです

*³ 消化器関連については、従来の“その他”に含まれていた消化器関連を独立し区分したものです。(旧区分数値 '21/3期 PCI関連: 3,417 その他: 786)

(資料) 連結損益計算書 ('21/3期実績 対前期)

(百万円)	2020/3期		2021/3期			
	通期 実績		通期 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	51,761	100.0%	51,286	100.0%	△ 475	△0.9%
売上原価	22,570	43.6%	22,622	44.1%	52	0.2%
売上総利益	29,191	56.4%	28,664	55.9%	△ 527	△1.8%
販管費及び一般管理費	18,756	36.2%	18,296	35.7%	△ 460	△2.5%
営業利益	10,434	20.2%	10,367	20.2%	△ 67	△0.6%
営業外収益	891	1.7%	1,031	2.0%	139	15.7%
営業外費用	900	1.7%	879	1.7%	△ 21	△2.3%
経常利益	10,425	20.1%	10,519	20.5%	93	0.9%
特別利益	3	0.0%	3	0.0%	0	8.7%
特別損失	4	0.0%	5,982	11.7%	5,978	144343.1%
税引前利益	10,425	20.1%	4,540	8.9%	△ 5,884	△56.4%
税金費用	2,676	5.2%	2,540	5.0%	△ 136	△5.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,748	15.0%	2,000	3.9%	△ 5,747	△74.2%

(資料) 品目別売上高 ('22/3期計画 対前期)

(百万円)	2021/3期		2022/3期				備考
	通期 実績		通期 計画				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,996	11.7%	6,205	11.7%	208	3.5%	
ICD関連	7,001	13.7%	7,085	13.4%	83	1.2%	
その他 * ¹	250	0.5%	290	0.5%	40	16.2%	AED含む
リズムデバイス 計	13,248	25.8%	13,581	25.6%	332	2.5%	
EPカテーテル * ¹	17,314	33.8%	18,577	35.1%	1,262	7.3%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	1,047	2.0%	1,428	2.7%	380	36.4%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	5,501	10.7%	5,729	10.8%	228	4.1%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	23,863	46.5%	25,735	48.6%	1,871	7.8%	
人工弁関連	33	0.1%	–	0.0%	△ 33	△100.0%	
人工血管関連 * ¹	9,039	17.6%	9,350	17.6%	311	3.4%	ステントグラフト（胸部・腹部）、オープンスtentグラフト含む
血液浄化関連 * ¹	871	1.7%	–	0.0%	△ 871	△100.0%	
その他	24	0.0%	–	0.0%	△ 24	△100.0%	人工肺関連含む
外科関連 計	9,969	19.4%	9,350	17.6%	△ 618	△6.2%	
PI関連 * ¹ * ²	3,921	7.6%	3,738	7.1%	△ 182	△4.6%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈stent、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹ * ³	247	0.5%	526	1.0%	278	112.8%	大腸stent、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
その他 * ¹	36	0.1%	46	0.1%	10	27.6%	子会社販売商品含む
インターベンション 計	4,204	8.2%	4,311	8.1%	106	2.5%	
合計	51,286	100.0%	52,979	100.0%	1,692	3.3%	

*¹ 自社製品含む

*² インターベンション PI (percutaneous intervention) 関連は従来のPCI関連を名称変更し、従来の“その他”に含まれていた心房中隔欠損閉鎖器具を加えたものです

*³ 消化器関連については、従来の“その他”に含まれていた消化器関連を独立し区分したものです。(旧区分数値 '22/3期 PCI関連: 3,200 その他: 1,110)

(資料) 連結損益計算書 ('22/3期計画 対前期)

(百万円)	2021/3期		2022/3期			
	通期 実績		通期 計画			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	51,286	100.0%	52,979	100.0%	1,692	3.3%
売上原価	22,622	44.1%	22,522	42.5%	△ 99	△0.4%
売上総利益	28,664	55.9%	30,456	57.5%	1,792	6.3%
販管費及び一般管理費	18,296	35.7%	19,831	37.4%	1,534	8.4%
営業利益	10,367	20.2%	10,625	20.1%	258	2.5%
営業外収益	1,031	2.0%	274	0.5%	△ 756	△73.4%
営業外費用	879	1.7%	217	0.4%	△ 661	△75.2%
経常利益	10,519	20.5%	10,682	20.2%	163	1.5%
特別利益	3	0.0%	—	0.0%	△ 3	△100.0%
特別損失	5,982	11.7%	—	0.0%	△ 5,982	△100.0%
税引前利益	4,540	8.9%	10,682	20.2%	6,141	135.3%
税金費用	2,540	5.0%	3,115	5.9%	575	22.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	3.9%	7,567	14.3%	5,566	278.3%

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営企画室
TEL:03-6711-5214
E-Mail:ir@jll.co.jp
URL:<https://www.jll.co.jp>